

第3章 計画の基本方針

3.1 基本理念

第6次幸田町総合計画に掲げる「まちづくりの理念」と「めざすべき将来像」、幸田町都市計画マスタープランの「将来都市像」、都市交通マスタープランにおける「基本理念」との整合や公共交通に関する課題を踏まえて、基本理念を以下のとおり設定します。

まちづくりの基本理念

人と自然と産業の調和

めざすべき将来像

みんなでつくる 元気な幸田

＜第6次幸田町総合計画＞



将来都市像

人と自然を大切にする緑住文化都市

＜幸田町都市計画マスタープラン＞



基本理念

人・まち・地球を大切にする都市交通の実現

＜幸田町都市交通マスタープラン＞



基本理念

人・まち・地球を大切にする公共交通体系の構築

＜幸田町地域公共交通計画＞

図 計画の基本理念

3.2 基本方針

基本理念の実現を図るため、その実現性の旗印となる基本方針を以下に設定します。

駅等の交通結節点の機能強化や、幸田町内の公共交通（えこたんバス、チョイソコこうた、藤田乗合直行タクシー等）の再編・改善により、公共交通の効率性・利便性の向上を図るため、基本方針として『交通モードの連携による生活の足の確保』を掲げます。

外出支援や企業活動との連携、ICT技術の活用を行い幸田町の活力の創出を図るため、基本方針として『まちの元気の創出支援』を掲げます。

公共交通の利用促進や移動制約者への配慮、地球環境問題の解決へ向けた貢献を行うため、基本方針として『人や地球への思いやり』を掲げます。



図 計画の基本方針

3.3 基本目標

幸田町における公共交通形成に関する基本方針を踏まえ、地域公共交通計画の目標を以下の通り定めます。なお、目標の達成状況を評価する指標については、第4章に示します。

基本方針:交通モードの連携による生活の足の確保

基本目標 1 : 交通結節点の機能強化

鉄道駅の再整備や、交通モード間の乗継改善を行うことで、交通結節点の機能強化を図ります。交通モード間の連携を強化することで、幸田町全体としての公共交通の効率性を高めます。

基本目標 2 : 町内の公共交通の見直し

幸田町が運営する公共交通（えこたんバス、チョイソコこうた、藤田乗合直行タクシー）について、役割分担・重複解消、需要に応じた運行形態の変更・サービス水準の適正化・効率化を行うことで、過剰な財政負担の増加を抑制しながら、公共交通の利便性向上、町民の生活の足の確保を図ります。

基本方針:まちの元気の創出支援

基本目標 3 : 企業や地域活動との連携

バス停やバス車内への広告設置、外出支援や地域活動との連携、地域主体の取組の社会実装（坂崎コミュニティライド等）を進めることで、外出支援やコミュニティの創生を図り、まちの元気の創出を支援します。

基本目標 4 : 新技術の積極的活用による利便性向上

自動運転や MaaS の開発、ICT 技術の活用による効率化を積極的に推進することで、新たな活力を創出するための基盤整備を行います。

基本方針:人や地球への思いやり

基本目標 5 : 地球環境問題への取組の推進

公共交通の見直しと併せて、企業や学校と連携したモビリティマネジメントの実践や公共交通のPRにより、自動車利用から公共交通利用へ転換するキッカケ作りを行います。加えて、環境へ配慮した設備の導入についても検討することで、地球環境問題解決に向けた取組を推進します。

基本目標 6 : 移動制約者に対する支援

公共交通の利用案内の充実やバリアフリー化の推進、移動制約者への移動手段の提供により、移動制約者の方でも使いやすい公共交通となることを目指します。

図 計画の基本目標

3.4 幸田町が目指す公共交通の将来像

課題整理の結果や、基本理念・基本方針を踏まえ、幸田町が目指す公共交通の将来像を以下に示します。幸田町が運営する公共交通（えこたんバス、チョイソコこうた、藤田乗合直行タクシー）について、下記の方針で役割分担を進め、公共交通の効率化と利便性向上を図ります。

- 幸田駅、三ヶ根駅、相見駅、ハッピーネス・ヒル・幸田を交通結節点として位置付け、アクセス性を強化。
- えこたんバスは、3 駅や人口集積地を中心に運行するコンパクトなルートに再編。
- デマンド型乗合交通は、えこたんバスを補完することで、鉄道駅や主要施設等への移動手段を担保。
- 藤田乗合直行タクシーは、幸田町と町外の総合病院を結ぶ。
- 必要に応じて、隣接自治体への乗り入れについても検討。

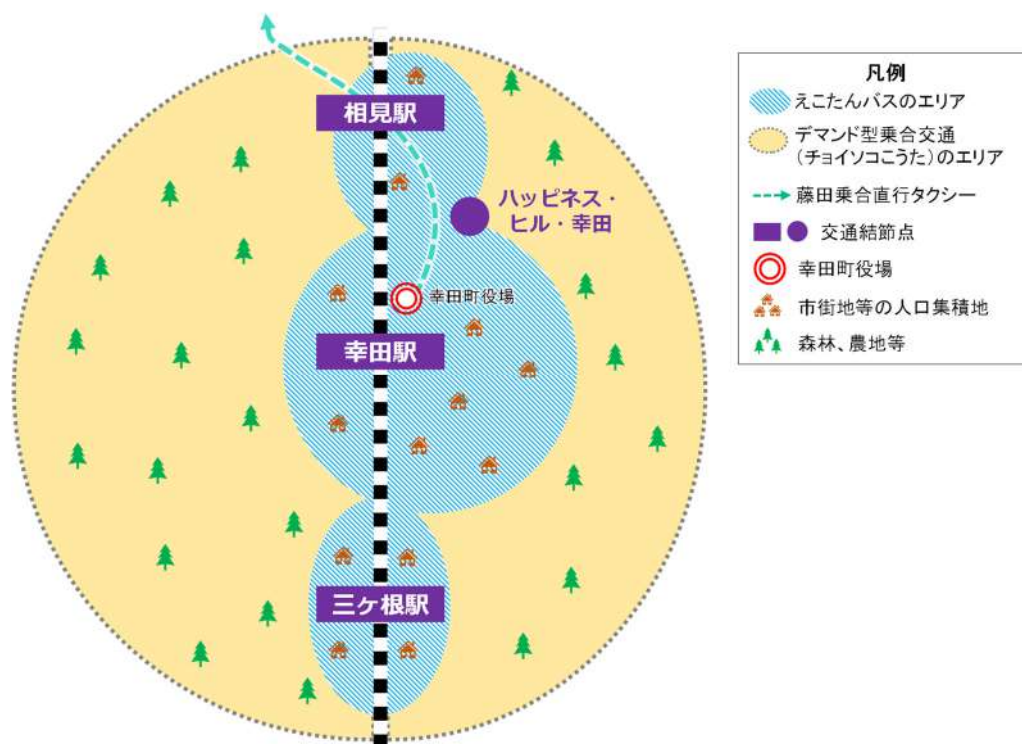


図 幸田町が目指す公共交通の将来像
表 幸田町内の地域公共交通の位置づけ

位置付け	系統	役割	確保・維持策
広域幹線	JR 東海道本線	幸田町と他地域を結ぶ広域交通軸	交通事業者と協議の上、一定以上の運行水準を確保。
地域内幹線		幸田町内の居住地域や主要施設等を結ぶ地域内の基幹交通軸	
支線	えこたんバス	幸田町内の居住地域と鉄道駅や主要施設等を結ぶフィーダー交通	公共交通等の再編による利便性向上により、一定以上の需要を確保。 地域公共交通確保維持改善事業の活用も視野に検討。
	デマンド型乗合交通 (チョイソコこうた)	えこたんバスを補完する交通	
専用軸	藤田乗合直行タクシー	幸田町と町外の総合病院を結ぶ専用交通軸	